

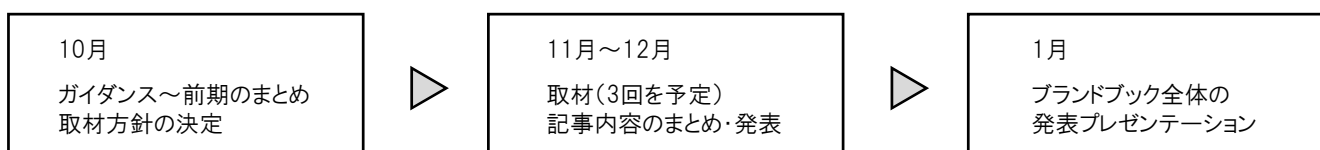
大学の授業と小冊子の制作スケジュール（予定）

■前期「観光プランニング演習」（全15回）

※右に★マークがある講義は取材可能です。

回	講義テーマ	内容	日程	担当(想定)	
1	観光プランニング演習 ガイダンス		4/13	今井先生	
2	観光プランニング演習 一般講義①		4/20	今井先生	
3	観光プランニング演習 一般講義②		4/27	今井先生	
4	「信長公＝岐阜市」の発掘～ブランドブックの企画	信長公450プロジェクトの協働企画として、「信長公と岐阜のつながり」の再発見を通じ、岐阜市の新たな観光価値を創造。その発信ツールとしてブランドブックを制作。（事業意義、実施スケジュールなどを紹介）	5/11	今井先生 岐阜市 DMC	★
5	学外研修	※他学科授業	5/24	今井先生	
6					
7	「信長公＝岐阜市」の発掘～日本遺産「信長公のおもてなし」+ α	早見俊氏を招き、日本遺産となった信長公のおもてなしとは何かを紐解くとともに、岐阜市にゆかりの深い言葉として「天下布武」「楽市楽座」を紹介する特別講義を実施。	5/25	早見氏 (今井先生)	
8	フィールドワーク①	岐阜公園でのフィールドワーク。「信長公＝岐阜市」を学生たちに肌で感じてもらう第一歩とする。	6/18	今井先生 地元歴史 関係者など	★
9					
10	「信長公＝岐阜市」の発掘～編集長の視点	プロの編集長を招き、「信長公＝岐阜市」を発信するブランドブックとして何を紹介したら良いか、学生たちの意見発表を行う。（フィールドワークを活かす）それに対し、読者が読みたくなるブランドブックという視点から、編集長がアドバイスをおくる。	6/22	編集長 (今井先生)	★
11	「信長公＝岐阜市」の発掘～新たな観光価値の発見	編集長からのアドバイスを参考に、若者の感性で「信長公＝岐阜市」と思われる場所・文化等をピックアップするワークショップを実施。挙げられたものの中から次回フィールドワークで回りたい場所をを設定します。	6/29	今井先生	
12	フィールドワーク②	前回のワークショップでピックアップした場所を、2～3班程度に分け実地調査。	7/13	今井先生 地元関係者 DMCなど	
13					
14	ブランドブックストーリーの素案作成	2回目のフィールドワークを通じ、「信長公＝岐阜市」をどんなストーリーで紹介していったら発信力が高まるかを、学生たちの視点で再整理するワークショップを実施。	7/20	編集長 (今井先生)	
15	「信長公＝岐阜市」の発掘～岐阜市の今に息づく信長公	まとまったプランを早見氏、編集長に向かってプレゼンテーションする。両氏からアドバイスもらい、後期へのヒントとする。	7/27	早見氏 編集長 (今井先生)	★

■後期「フィールドワークⅡ（予定）」（全15回）



※講義スケジュールは想定であり、日程や内容の変更が生じる可能性があります。

※後期授業の「フィールドワークⅡ」は予定であり、授業内容が変更となる可能性があります。